

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	プロッサムジュニア川崎登戸教室		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 5日		～ 2026年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34名	(回答者数) 11名
○従業者評価実施期間	2026年 2月 5日		～ 2026年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 5日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・利用者様、保護者様に支援をご理解いただき、満足していただけている	・職員全体が利用者様へ支援が出来るよう、日々の活動の時から利用者様への対応や、良かった対応、効果を得られなかった対応なども共有する場が設けられている。 ・日々の記録や集団療育の引き継ぎ書を活用し、繋がった支援を提供出来るようにしている。	・専門職員や強度行動支援職員も増員している為、より専門的な目線で利用者様をみるようにしていく。また、該当職員ではなく、他職員もそれを確認出来る環境にしておく事で個々のスキルアップ、利用者様理解に繋げていく。
2	・避難訓練の実施	・避難訓練の年間予定が決まっており、定められている回数よりも多くの避難訓練を実施している。また実際に起きた時の事を考慮し、利用者様の発達段階を見つづ告知無しの避難訓練も実施。	・避難訓練時のリーダーは常勤が務める事になっているが、誰でも対応が出来るよう避難訓練の時から常勤以外の職員も担当し、緊急時に備えることより職員の危機管理や動き方なども良いものになるのではないかと考える。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・外部との関わり ・保護者様同士の関わり	・外部との関わりが薄い ・行う機会が少なかった	・積極的に外部との関わりを持っていき、定期的に挨拶や交流などの機会を持つことにより、関係性を深めていく。 ・今年度より保護者会を実施。今後も続けていけるよう、年間のプログラムに入れる事を検討。また、保護者様もより濃く参加出来るようなイベントも検討段階である。
2	・職員のスキルアップ体制 ・職員の教室配置	・今までの体制状況	・体制を見直したり、本社と連携を取りスキルアップの規定も都度見直していくなど、現場の意見を参考にしつつ教室・職員にとって良い方法を探っていく必要がある。
3			